

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公表番号】特表2002-507251(P2002-507251A)

【公表日】平成14年3月5日(2002.3.5)

【出願番号】特願平11-506327

【国際特許分類第7版】

C 2 2 C 38/00

C 2 2 C 38/06

【FI】

C 2 2 C 38/00 3 0 2 A

C 2 2 C 38/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年3月10日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第506327号

2. 補正をする者

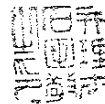
氏名 フロムマイヤー, ゲオルク (外1名)

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



請求の範囲

1. 自動車のボディー金属板部材およびボディー構造部材にステイフナー材料として用いられる鋼であって、冷間加工、特に深絞り容易で、極限引張強さが1100MPaに達し、TRIPおよびTWIP特性を備えた軽量構造用オーステナイト鋼において、化学組成（質量％）が、

1～6％ Si、

1～8％ Al、

$(Al + Si) \leq 12\%$ 、

実質的に鉄であって通常の鋼随伴元素を含む残部、
であることを特徴とする軽量構造用オーステナイト鋼。

2. 低温で使用する貯蔵容器および／またはパイプライン用の熱間圧延板用および／または冷間圧延板用であって、冷間加工、特に深絞り容易で、極限引張強さが1100MPaに達し、TRIPおよびTWIP特性を備えた軽量構造用オーステナイト鋼において、化学組成（質量％）が、

1～6％ Si、

1～8％ Al、

$(Al + Si) \leq 12\%$ 、

実質的に鉄であって通常の鋼随伴元素を含む残部、
であることを特徴とする軽量構造用オーステナイト鋼。

3. 化学組成（質量％）が、

2.0～4.0％ Si、

2.0～4.0％ Al、

24～26％ Mn、

実質的に鉄であって通常の鋼随伴元素を含む残部、
であることを特徴とする請求項1または2記載の鋼。

4. 質量％で、Al含有量およびSi含有量が各々3％で、Mn含有量が25％であり、残部が実質的に鉄であって通常の鋼随伴元素を含むことを特徴とする請求項1または2記載の鋼。